

町民の声内容（7月26日）

【タイトル】八頭町営ホッケー場問題に関する提案について

1. 現在の状況

今回の八頭町営ホッケー場問題については、様々な問題が含まれており、町民の間で大きな議論となっています。

先日の町による説明会でも、町側の誠意のない対応もあり、論点のかみ合わない議論が延々と続き、結果的に対立の構図になってしまいました。

それは関わった大人全員が背負うべき、大きな反省点と考えています。

2. 今やるべき事

このまま議論が長期化することで一番の被害者となる可能性があるのが、ホッケーをやっている子供たちです。さらにそれ以外の子どもたちにも大きな影響があることは避けられません。

そのために、今このタイミングで、大人が決断をする必要があります。

それぞれが少しずつ譲歩し、歩み寄ることについて提案させていただきます。

これが町と町民が気持ちよく未来へ進んでいける数少ない選択肢の一つであり、最後のチャンスです。

意見は違っても子どもたちを想う気持ちは同じです。

力を一つにして、こどもたちのため、まちの未来のために一緒に進むことが大切です。

3. 提案

以下、（1）（2）（3）について提案させていただきます。

（1）大規模なホッケー場整備の提案の撤回

・町民の理解が得られない現状や財政状況を考慮して、総工費6億円と言われている大規模なホッケー場整備の提案を撤回していただきたい。

郡家地域の排水路の完成まで数年間かかると言われており、その間の対処についての疑問も議会の特別委員会では上がっていました。

オリンピックのキャンプ地誘致までに大規模ホッケー場が必要と言うことですが、この状況では必要な時期までの稼働は非常に困難と思われます。

仮に間に合ったとしても町民の理解が得られていない現状では、全町を挙げての歓迎ムードというのは難しく、そのような状況では、来ていただくチームの方々にも申し訳がないです。

八頭町公共施設等総合管理計画で今後年平均33億円かかると試算されているとおり、公共施設やインフラ設備の維持管理費などが大きな負担になってくることも事実です。

子どもたちが大人になった未来に八頭町を住みよい町として残すためにも、この大規模ホッケー場の整備は一旦撤回していただきたいと考えます。

撤回の意志が示されれば、町民としてはそれを受けて、次の（２）について前向きに考えることができると思います。

（２）中学生の部活に過不足ない人工芝ホッケー練習場の整備

- ・議会可決済みの測量設計費の 4500 万円については執行せず、

小中学生の部活に過不足ない人工芝ホッケー練習場の整備に有効活用していただきたい。

全国レベルで戦っている八頭中学校のホッケー部の練習環境については、専用で使える人工芝のコートがない状況であることは理解しています。

今回の大規模ホッケー場の整備のための測量設計費として議会を通過した 4500 万円を、小中学生の部活に過不足ない人工芝ホッケー場の整備に有効に活用してはいかがでしょうか。

整備費用の圧縮に最大限努力した上で整備するのであれば、町民の賛同は得られると考えています。

（３）「ホッケーのまち八頭町」の取り組みについて

- ・「ホッケーのまち八頭町」の取り組みについては、町民の理解が得られるように丁寧に進めていただきたい。

「ホッケーのまち八頭町」の取り組みについては、まだ全町に浸透しているとまでは言えない状況です。

この取り組みについて、本気で取り組まれているのであれば、町民の理解が得られるように、時間をかけて丁寧に説明していただきたいと考えています。

また再度大規模なホッケー場の実現を目指すのであれば、町が主導して稼ぐ部分も重視したしくみの構築を検討していただきたいです。

ホッケー場によりもたらされるものが負担に見合ったもので、過度に財政に負担のかからない形での実現が可能ということになれば、町民の理解も得られると思います。

### 3. 最後に

この八頭町の未来のために一番大事にしないといけないのは、子どもたちの気持ちです。

「子どもたちのための練習場の整備」が目的と言われてきたのを聞いていますが、今のやり方がその目的に合ったものであるとは思えません。

ホッケー場をつくるなら、これをして欲しいというような声も聞こえてきます。  
それを子どもたちが聞くことで、どのような気持ちになるかを考えていただきたい。

子どもたちが本当の意味で気持ちよくホッケーをできる環境。  
町民がここに住み続けたいと思えるまち。  
子どもたちがいつかは帰ってきたいと思えるまち。

それを目指して、町と町民と一緒に協力していくためには、今何をすべきか、考えていただきたいと思います。

提案は以上です。